教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合代表者 川原芳和
編集人 小西宏典
電話 050（3538）2346
1部15円　年定価360円
（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2018/11・1
No. 1962

2面
・講演会「熊本での活動から今後の兵庫の防災を考える」

とりくみを交流し合おう！
2018全県分会交流会

結成71年を迎える兵教組は、これまで教職員の生活と労働条件の改善とともに、子どもたちの教育の充実を運動の中心課題に据え、様々なとりくみをおこなってきた。

しかし、2006年に教育基本法が「改正」されて以降、全国学力・学習状況調査の再悉皆化とその結果公表、教員免許更新制の導入などの制度「改正」に加え、「特別の教科　道徳」や、「小学校外国語活動の早期化・教科化」を含む新学習指導要領が告示され、子どもの負担が増加し教職員の多忙化に拍車がかかっている。

一方、「働き方改革」が叫ばれ、教職員の長時間労働の実態がクローズアップされた昨年度、文科省より「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等の取組の徹底について（通知）」いわゆる「事務次官通知」が発出された。その中で、学校における業務は「基本的には学校以外が担うべき業務」「必ずしも教員が担う必要のない業務」「教員の負担軽減が可能な業務」と大きく3つに分けられたが、通知が発出されたのは、年度末に近い2月だったこともあり、実際にとりくみがすすめられたのは、2018年度入ってからである。今年度に入ってから文科省中教審における働き方改革部会では、「学校の組織運営体制の在り方」等について議論がされており、真に実効性のある勤務時間の適正化につながるよう、日教組・連合を通じて意見反映していく必要がある。

この10年間で組合員の半数が入れ替わり、青年層組合員が増えている。次の時代を担う青年層にこれまでの運動の歴史や教育研究活動をしっかりと語り継ぎ、とりくみの意味づけを大切にして、日常的に〝組合活動の見える化〟をすすめていかなければならない。

そこで、県内各地域でどのように「業務改善・削減」にとりくんでいるのか、また、日頃の分会活動を通して政策制度要求実現にむけたとりくみを交流し、兵教組全体の底上げをはかるべく、全県分会交流会を実施する！

どんどん投げろ
市川町立鶴居小学校　三年　成相　奏多
（こどもの詩と絵　第38集より）

川西市議会議員選挙
つだ加代子さん当選！

10月21日に執行された川西市議会議員選挙で、兵政連のつだ加代子さんが激戦を制し、当選を果たした。

今回は、26人の定数に対して32人の立候補者が争う厳しいものとなった。投票率は過去最低だった前回に比べて3・55ポイント高い51・70％。つださんは前回より516票多い3，451票を獲得し、2位で4回目の当選を果たした。

つだ加代子さんの声

四度目の挑戦を果たせ、感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

今回の選挙で、訴えてきた主なものは二つです。

一つは、12年間の子育て・子育ち支援の状況と『子どもへの施策』が少なすぎることを認識し、「子どもの居場所づくり」の必要性を一貫してとりくんできたものの未だ不十分。また「ボール遊びのできない公園」の問題や小中高校で出現している「不登校」の問題に絡み、「子どもの貧困」課題等の事業について、早急に市に提言していかなければと訴えました。「子ども・若者ステーション」の開設で充実した支援を生み出していきます。

二つは、2022年設立予定の「（仮）市立川西総合医療センター」について。いろいろ考え方がある中、市はこれまで以上に市民に対して説明責任を果たし、今後の具体的な病院運営についても細やかなとりくみが重要であるということです。

『子どもにやさしいまち』は、『すべての人にやさしいまち』です。

「ともに創ろう　元気になれるまち川西」をめざし、子ども施策に関わって、こだわり続けてまいります。問われている『公教育とは？』を問い続けつつ…。

みなさまのご支援ありがとうございました

夏休みファミリーパズル当選者発表

ファミリーパズルにご応募いただき、ありがとうございました。応募総数69通のうち、正解者の中から抽選で20名様に粗品をお送りいたします。

パズルの解答とともに、「岡山県真備町への軽トラック寄贈」の記事に対して、多くの方から共感の声をいただきました。また、人権の視点を大切にした道徳教育」について、『道徳』にどうとりくむか悩んでいたが、小さいけど強い示唆をいただいた」といった声や、「働き方改革」についての記事へ多くのご意見・ご感想をいただきました。

今後もより良い紙面づくりをめざして参ります。よろしくお願いいたします。

（編集部）

当選者の皆さん

岩田真理（西宮）、宗佐田可奈（西宮）、不破利恵子（芦屋）、田ノ岡志委菜（芦屋）、菅野孝二（加西）、末広清美（加小）、筒井俊明（加小）、藤井泰子（多西）、高橋誠司（多西）、田渕陽子（姫路）、上山純奈生（姫路）、岩西悦子（姫路）、坂東日出夫（姫路）、矢野美智子（赤相）、寺井宏樹（赤相）、天本雅剛（揖龍）、足立美穂（氷上）、竹見静佳（多紀）、松本美智子、（朝来）中島達也（朝来）

敬称略

★皆さんの感想やご意見をお待ちしております。

みずおか俊一（しゅんいち）
立憲民主党

教育、くらし、平和
希望ある未来を子どもたちに！

みずおか俊一さんに聞く　～その①～
教育問題について

Q: 現在、家庭の経済格差が、子どもの教育機会に影響を及ぼしていると思いますが、どんなとりくみが必要でしょうか。

A:2016年度、大学などに進学する学生の約半数が奨学金制度を利用しています。しかし、現在の制度の多くは奨学金とは名ばかりの「教育ローン」です。その返還ができず、若くして自己破産を余儀なくされる方もいます。奨学金制度の問題は、未来を担う若者の「くらし」をいかに支えるのか、という社会問題でもあります。

その解決策の一つとして、まずは「給付型奨学金制度を拡充」する必要があると考えています。

自動車共済・2017年9月に制度改定を行いパワーアップ!!

くるま通勤の方必見！

NEW ■通勤中の事故は等級ダウンなし！
＊補償充実コース・6等級以上で1共済期間中1回限り

もちろんこれまでどおり
■公務中使用中の事故も等級ダウンなし！
＊全コース・全等級に適用

意外と多い通勤時間帯の事故
41.9%
※2015年度に自動車共済の現職加入者が起こした対人・対物事故のうち、平日の「午前7時～8時台」「午後5時～8時台」の事故の割合

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧いただき、制度内容をご確認ください。

あんしんむすぶ
教職員共済

資料請求 お問い合わせは

教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所

〒650-0004
神戸市中央区中山手通4丁目10-8ラッセホール4F
電話（078）221-9730
FAX（078）221-1199

承18-56-01（1804）

講演会　記録　2018年8月9日　教育課程編成講座（後期）

『熊本での活動から今後の兵庫の防災を考える』

兵庫県立大学大学院　防災教育部会協力研究所員　諏訪清二さん
震災・学校支援チーム（EARTH）員　大谷　誠さん

潮の匂いは始まりだった。
潮の匂いは終わりになった。
詩「潮の匂いは」より

防災教育と一体的にすすめる心のケア
そして、災害体験の語り継ぎを

大谷誠さん

諏訪清二さん

いくのか、それを学校の防災教育・防災学習にどう落とし込むのかを考えたい。

南阿蘇村への派遣より

大谷　普段は明石の錦城中学校の国語を担当しており、昨年度一年間、熊本県南阿蘇村の南阿蘇西小学校に派遣され一年間どんなことをしてきたのか、そこから見えてきた子どもたちの現状などを話したい。

私は、震災・学校支援チーム（EARTH）の一員で、大地震で不幸にして亡くなった女の子がいる高槻の寿永小学校で支援活動をした。今日も、EARTHは岡山県倉敷市真備町という大きな水害の被害があった所で支援活動をしている。

南阿蘇村の被害

大谷　熊本地震は、二つの大きな地震が相次いで起こるという、たぐい稀れな地震だった。熊本地震と聞いて、まず真っ先に思い浮かぶ映像は、例えば熊本城のあの崩れた石垣だとか、益城町の大規模な住宅被害の映像などではないだろうか。意外と知られていないのが南阿蘇村である。益城町と南阿蘇村、この二つのエリアが、熊本地震では最も被害の大きかった所だ。

豊かだった南阿蘇村

大谷　南阿蘇村には、湧き水の水源がたくさんあり、水道から直接ミネラルウオーターが出る。またイチゴなどの観光農園がたくさんあった。そういう観光資源が豊富な所だったが、軒並みそれらがやられた。

全世帯の7割が被害

大谷　住宅は全世帯の七割が被害を受け、エコノミークラス症候群に陥って関連死で亡くなった方が大勢いた。そして、ほとんどの子どもが何らかの形で避難経験をしている。現在、仮設住宅・みなし仮設にいる子どもが四割近くという現状だ。震災前と比べ数10人の子どもが、住宅の事情などで区域外や他県に行ってしまった。

いじめ

大谷　いくつもの学校が合併してできた小学校で、多くの子どもたちはスクールバスで通ってきている。

大津町の学校に行っている子どもたちが、いじめを受けた。大津町もそれなりに被害を受けている所なのだが、そこの子どもたちが南阿蘇から来た子どもに向かって、「南阿蘇は、なんやかんや言っても、震度7じゃなかっただろう」。確かに6強だった。「南阿蘇村はえらっそうに言うな」といういじめを受けた。福島にも似たような状況があった。その子どもたちが、切々と作文に「南阿蘇のことを悪く言わないでください」と書いた。このいじめの事実は直ちに現地の先生方が対応して解消した。

子どもの症状

大谷　子どもたちの様子は、様々なストレス反応と言われる症状が見られた。夜一人でトイレに行けない子どもが複数いた。宿泊体験の時にパニックになった子どももいた。

まずは防災教育を

大谷　研修の主要テーマとして、防災教育を位置づけてもらい、年間計画や全体計画を立て、『明日に生きる』を使って公開授業をした。

そして、心のケアを

大谷　「心と身体の健康観察アンケート」を定期的におこない、子どもの実態を調べた。さらに「お話タイム」と名づけて「子どもとゆっくり向き合う時間」をもった。一対一で面接をする中で、子どもたちの心身の状態をつかんでいった。また、リラクゼーション法の研修をした。保護者にも心のケアが必要なので、PTA総会や会合のあと少し時間を使って話をした。

地域教材の開発

大谷　南阿蘇村では、震災に負けずにがんばってきた方がたくさんいた。そういう方のお話を聞いて教材に残していこうと考えた。熊本県も、『明日に生きる』のような形で防災教育の指導に使えるような教材を作りたいということで、『指導の手引』という副読本が作られた。

頻繁に起こる災害

諏訪　今年は、西日本の豪雨や強い台風がたくさん発生した。大阪北部地震もあり、自然災害が増えているような気がする。その理由は、自然現象の極端化と頻発化にあるのではないかと思う。

防災というのは、災害を100％防ぐという発想だが、それは正直なかなか難しいことだ。まず被災を減らそうという「減災」という言葉が最近定着している。もう一つ、「ディザスター・レリジリエンス」、災害からの回復力という言葉がよく使われている。災害を縮めるということで、「縮災」と訳しておられる方もいる。防災にしろ減災にしろ縮災にしろ、それをどう広げていくのか、それぞれを学校の防災教育・防災学習にどう落とし込むのかを考えたい。

被災体験の語り継ぎ

諏訪　防災教育のことを考えるとき、やはりその根底にあるのが、経済の問題も、心のケアの問題も、学習指導要領の問題も、いろいろな問題があるが、一番根っこにあるのは、被災体験の語り継ぎだと思う。その意味は二つある。

一つは、失敗から学ぶ、失敗の教訓を伝えること。

二つは、何か個人的な意味を持った、聞いている方がちょっと混乱し戸惑うような話も大事であるということだ。

「釜石の奇跡」ではない

諏訪　釜石東中では毎月避難訓練をしていた。だけど、それだけではないのだ。地域のマップをみんなで作って、マップの上に自分の家を置き、家からならここに逃げる。友だちの家にいたら、別の避難場所に逃げる。買い物をしていたら、また別の場所に逃げる。港で釣りをしていたらどうかなどと話し合っていた。このように防災学習を熱心にやってきていたのだ。

曲がるべき曲がり角を全部正しく曲がり、校舎に逃げずに山へ走って逃げた。それは、臨機応変の判断ができるような教育を日頃からやっていたからだと思う。だから、彼らも「奇跡」とは言わない。彼らは一生懸命逃げ切った「実績だ」と言っている。

大川小学校

諏訪　いろいろな話がある中で、最後はやっぱり逃げようとしたところで、津波に捕まってしまったのだ。

この大川小学校で娘さんを亡くされた佐藤敏郎さんは先生方を責めていない。先生も逃げたかったのだ。だけど、最後まで時間がかかってしまったのはなぜだろう。そこを直さない限りは、どうしようもないのだ。そこを直したいのだと言われている。

大前提として、想定があって、想定を信じて大変な目に遇った学校と、想定を信じなくて助かった学校がある。そこを私たちが教育の中にどう取り入れるか、ということを考えさせられた。

『16歳の語り部』

諏訪　震災当時、五年生だった子どもたち三人が自分の語りを始めた。

「津波って、残酷でしょ。家なくなった子と、家ある子がいるんです。そこに芸能人が歌を歌いに来るんです。炊き出しに来るんです」。

家が残ったある男の子が悪気はないと思うが、「津波、ラッキー」って。それを聞いた女の子は「すごく残念だ」と言っていた。

三つのメッセージ

諏訪　子どもたちに伝えたいメッセージが三つある。

一つは「あなたの心と身体がしんどいのはそれでいいんだ。普通ではない状況での普通の反応なんだから、安心していいよ」という安心感を伝えたい。

二つは「あなたの傍には私がいるよ」という安心感。寄り添いの安心感だ。

三つは「同じことは、二度と起こらないよ」という安心感。

フロアから

避難訓練で大切なことは、心のケアの仕方、教職員を守るにはなどが質問された。

大谷　「命を守るための大事な訓練だよ」と伝え、防災訓練と心のケアは車の両輪なので同時並行ですすめること。心のケアの継続的なとりくみが必要だと思うが、まず一番大事なのは、その日常を取り戻すことではないだろうか。人権教育の視点と同様、あらゆる教育機会をとらえたとりくみが必要である。

最後に

諏訪　自分の地域をよく知って、雨が降りそうだったら、もう行政が何か言う前に、みんなで安全な所に逃げてしまうような、そんな市民がいっぱいいる国にするのが、防災教育の大事な視点かなと思った。

諏訪　心のケアをしっかりしながら、先生方にノウハウを伝えながら、子どもたちが使える、先生方が使える教材を一緒に開発して、一緒にやっていく。やはり兵庫だからこそやれる学習だと思う。

Fleur　Lasse Hall Infomation
［フルール2018年9月号］
HYOGO 150th Anniversary

日本海と瀬戸内海に挟まれた兵庫は、自然豊かな海や山などに恵まれた食材の宝庫。ラッセホールの「夏のバンケットプラン」では、兵庫県産のさまざまな食材をお楽しみいただけます。ぜひこの機会にご利用ください。

お料理＋フリードリンク
ブッフェ形式にすると、料理が一品（おまかせ）追加でさらにお得に!

華コース　卓盛りメニュー　お一人様（税金・サービス料込）5,000円
- オードブルバリエ
- 鰹のたたき 兵庫県産青葱
- 炙り秋刀魚とクスクスのサラダ 兵庫県産トマト
- ポークひとくちカツ ポテト添え
- 兵庫県産太刀魚 つくね団子 甘酢餡かけ
- 淡路鶏のポワレ 花畑風ムータルドソース
- 三田こしひかり 太巻寿司
- 秋茸のパスタ
- デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
- コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

雅コース　卓盛りメニュー　お一人様（税金・サービス料込）6,000円
- 蛸 烏賊 カルパッチョ ジェノバ風
- お造り二種盛合せ
- スモークサーモン 茸 大麦 サラダ仕立て
- 秋刀魚 兵庫県産椎茸 餡かけ
- 神戸ポークのポワレ 淡路玉葱ロースト
- 兵庫県産鶏 アジアン唐揚
- 三田こしひかり 兵庫県産胡瓜と鯖の巻寿司
- 椀子そば（温）
- デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
- コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

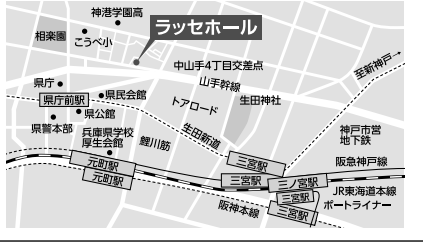
彩コース　卓盛りメニュー　お一人様（税金・サービス料込）8,000円
- モルタデッラ 兵庫県産野菜のオードブル
- お造り三種盛合せ
- モッツァレラチーズとラタトウユのサラダ
- 牛肉の煮込み 赤ワイン風味
- 淡路鶏のポワレ ハニーマスタード風味
- オマール海老 魚介のアヒージョ バケット添え
- 三田こしひかり にぎり寿司盛合せ
- 椀子そば（温）
- フルーツ&デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
- コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）
＜ライブ＞牛ロース鉄板焼き

プラス フリードリンク　●瓶ビール　●焼酎（麦/芋）　●ウィスキー　●ハイボール　●赤/白ワイン　●日本酒　●ウーロン茶　●オレンジジュース

オプション料理 実演屋台（一例）
- にぎり寿司　1,450円～
- 天婦羅　850円～
- そば　600円～
- ステーキ　1,450円～

注意事項
※記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。
※料金には、お料理、フリードリンク、音響・照明費（ワイヤレスマイク2本付）、会場費（2時間）、税金、サービス料が含まれております。
※ご延長の際は30分につきお一人様500円（税金・サービス料込）の追加料金をいただきます。
※当日キャンセルの場合は、全額キャンセル料としていただきます。当日ご利用人数が増えた場合は、別途料金を頂戴いたします。

記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたします。また、その他オプション等も多数ご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合せはこちら　078－291－1110
お問い合わせ時間　平日・土　9:00～19:00　日・祝　9:00～18:00

ラッセホール
〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4-10-8
TEL.078-291-1117（代表）
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com